

主催 メリー・アーティスツ・カンパニー & **名古屋市文化振興事業団** [芸術創造センター]

クロスローズ & メリー・アーティスツ・カンパニー特別公演

FRIENDSHIP

Merry Artists Company & Nagoya City Cultural Promotion Agency, Organizer
Special Performance "FRIENDSHIP" Co-Starring Crossroads & Merry Artists Company

"クロスローズ" ジャパン・デビュー in ナゴヤ !!

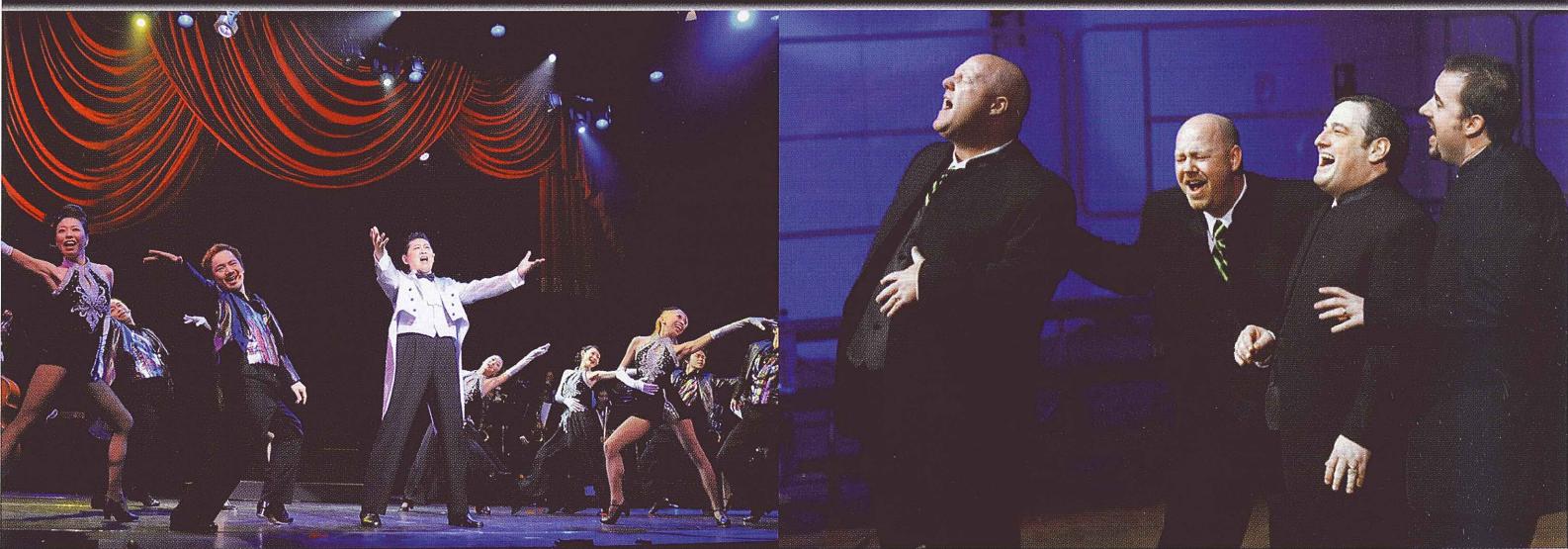
バーバーショップハーモニー協会2009インターナショナル・チャンピオン・カルテット"クロスローズ"初来日

アメリカが誇るア・カペラ世界王者"クロスローズ"名古屋で衝撃の日本デビュー!

"メリー・アーティスツ・カンパニー"と"クロスローズ"のコラボレーション遂に実現!

メリーの永見隆幸芸術監督とクロスローズのジム・ヘンリーはアメリカ大学時代の親友。

歌の舞台をたくさん共有した二人がどんなステージを創り、魅せてくれるのか、期待は膨らむ!



キャスト

永見 隆幸
ジム・ヘンリー
ラブソン・ガトン
マイク・スラムカ
フレッド・アリエル
塚本 伸彦
宇佐見祐林
米丸 史朗
平井 和宏
真井 聖美
柘植万梨恵
目次 恒子
内田 有香
安藤 麻実
伊藤 隆洋
赤尾 実祐
岩井 千秋
今井 美恵
堀田菜穂子
宮川日向里
桜井 俊輔
ほか

平成24年 2012
6月10日(日) 15:30開場 16:00開演
名古屋市芸術創造センター

主 催: メリー・アーティスツ・カンパニー / (公財) 名古屋市文化振興事業団 [芸術創造センター]
共 催: 芸術文化振興機構アーツ・アクティヴェイター
協 力: スマイル・ミュージカル・アカデミー / C.U.G.ジャズオーケストラ
後 援: 在名古屋米国領事館 / 名古屋アメリカンセンター / 名古屋ボストン美術館 /
中日新聞社 / 東海テレビ放送 / 東海ラジオ放送 /
愛知県 / 名古屋市 / 愛知県教育委員会 / 名古屋市教育委員会
制作協力: マネージメント・プロ
制 作: ザ・ディライトフル・カンパニー / オフィス:Dスマイル

お問い合わせ: 芸術創造センター 052-931-1811 / マネージメント・プロ 052-735-3151 /
オフィス:Dスマイル 0568-34-8078

演奏

重左 恵里, piano
C.U.G.ジャズオーケストラ

入 場 料: 前売4,000円 / 当日5,000円 (全自由席)

取 扱 い: チケットぴあ (Pコード420-344)

※サークルKサンクス・セブンイレブンでもお買い求めいただけます。

芸術創造センター / 市内各文化小劇場 / 芸文プレイガイド /

マネージメント・プロ / オフィス:Dスマイル

pia.jp/t
チケット
ぴあ
0570-02-9999

*未就学児童の入場は
お断り致します

PHOTO:田中聰(テス大阪)

スタッフ
芸術監督:永見隆幸
演出・振付:桜井ゆう子
音楽監督:塚本伸彦
タップ振付:宇佐見祐林
舞台監督:井上知也
照明:小嶋薰
(ジェイエス)
音響:岡田陽一
(ジェイエス)
衣装:アトリエUTA
衣装協力:下斗米雪子
(エフ・ジー・ジー)
舞台美術:井上知也
ダンス・ミスト:柘植万梨恵
制作 作:加藤雅之
制作助手:安藤麻実
音楽部助手:浅野愛
制作協力:吉見真悟
(マネージメント・プロ)



永見 隆幸 NAGAMI Takayuki

音楽家 Musician 著作家 Writer

10年にわたるアメリカ生活が、本格的な実力派歌手としての道を開いて、海外で活躍するようになった。数々のオーケストラと共に演している。主なレパートリーは、クラシックと現代音楽とジャズ。すばらしい高音と、中低音の美しい響きが、多くのファンを魅了して来た。

しっかりととした技術に支えながらテクニックを感じさせない自然な音楽。心に響くその歌は、温かさと知性を併せ持ち、アーティストとしての高いセンスを感じさせる。殊に、独自の表現スタイル、卑俗に流れない品格、鋭い感性、優れた洞察力、豊かな言語感覚、柔らかく甘い美声と深みのある伸びやかな歌唱に定評がある。

ニコラス・マクギーガンによってヘンデルのオペラ『アントン・ガラテア』のアシスに抜擢されてからは、数多くのオペラやミュージカルに主演。交響曲・宗教曲・合唱曲の独唱者やコンサートのソリストとしても頻繁に起用されている。指揮者やヴァイオリニストとしても活動。日本では、文化庁芸術祭主催公演やNHKクラシック・スタジオなどに出演。ひとりの芸術家としては拠点を定めず世界中を忙しく飛び回っているが、メリーアーティスツ・カンパニーの芸術監督として、東海地方から、本物の総合舞台芸術の発信にも力を注ぐ。現在、メリーアーティスツ・カンパニー芸術監督、スマイル・ミュージカル・アカデミー芸術監督、オフィス:スマイルチーフ・ディレクター、二期会(東京)会員。



ジム・ヘンリー Jim HENRY ベース Bass

Crossroads クロスローズ

中西部のハーバードと謳われるワシントン大学で作曲の博士号を取得。現在、UMSL(ユニバーシティ・オブ・ミズーリ/セント・ルイス)合唱学科のディレクターで、「ユニバーシティ・シンガーズ」と「ウォーカル・ポイント」の指揮者を務め、合唱法、合唱編曲法、合唱指揮法等を教えている。セントルイス交響合唱団のベース・セクション・リーダーを務めた。2009年優秀教育者ミズーリ州知事賞受賞。

バーバーショップ、ジャズ、ライト・クラシックをレパートリーにしている160人の男声ア・カペラ合唱団「ジ・アンバサダーズ・オブ・ハーモニー」の音楽監督&芸術監督としても知られる。「ジ・アンバサダーズ・オブ・ハーモニー」は3度のレコーディングをプロデュース、2009年にはバーバーショップ・ハーモニー協会史上最高得点を挙げてインターナショナル・チャンピオンに輝いた。因みに、バーバーショップ・ハーモニー協会2006インターナショナル・チャンピオン「ウォーカル・スペクトラム」のメンバーは、全員が「アンバサダーズ・オブ・ハーモニー」にも所属しており、ジム・ヘンリーの陶酔を受けている。

バーバーショップ・ハーモニー協会1993インターナショナル・チャンピオン「ザ・ガス・ハウス・ギャング」の編曲者で創立メンバー。「ザ・ガス・ハウス・ギャング」は5度のレコーディングをプロデュース、50の州と15ヶ国において公演し、「グランド・オール・オブリ」から「カーネギー・ホール」までのステージに上る。NBC「トゥデイズ・ショウ」、NPR「アット・ザ・クリエイション」、2つのPBSスペシャル「ヴォイセズ・イン・ハーモニー」と「ジ・エッグ」などで大きく取り上げられている。



ブランドン・ガイ頓 Brandon GUYTON バリトン Baritone

Crossroads クロスローズ

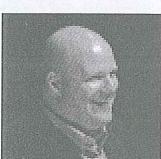
バーバーショップ・ハーモニー協会2002インターナショナル・チャンピオン「フォー・ヴォイセズ」での金メダリストとして知られる。「フォー・ヴォイセズ」は学生チャンピオンが国際チャンピオンになった初めてのカルテットで、2度のレコーディングをプロデュース、44の州と4ヶ国において公演し、リンクーン・センター級のステージを多く務めた。3度グラミー賞に輝いたゴスペル・シンガーのビル・ゲイザーやスウィングル・シンガーズなど、数え切れぬほどのアーティストと共に演している。



マイク・スラムカ Mike SLAMKA リード Lead

Crossroads クロスローズ

バーバーショップ・ハーモニー協会2003インターナショナル・チャンピオン「パワー・ブレイ」のリード。12回の挑戦の末にチャンピオンの座に輝いた「パワー・ブレイ」は、リードにマイク、ベースに父のジャック、バリトンに弟のマーク、テナーにいとこのドンを配し、スラムカ一族のカルテットとして知られる。3度のレコーディングをプロデュース、ザ・ジェイン・ポーリー・ショウや1925年から続くアメリカ最古のラジオ番組「グランド・オール・オブリ」にゲスト出演するなど、全国各地で公演を行った。

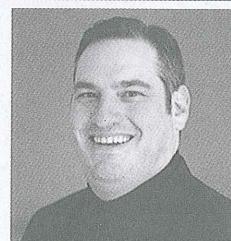


フレッド・ファレル Fred FARRELL テナー Tenor

Crossroads クロスローズ

バーバーショップ・ハーモニー協会1989インターナショナル・チャンピオン「セカンド・エディション」のメンバー。「セカンド・エディション」は2度のレコーディングをプロデュース、38の州と6ヶ国で公演、PBS(公共放送サービス)で放映されたウルフ・トラップ・シアター50周年記念ガラ・コンサートやNBCナイトリー・ニュースにも登場した。マイケル・フェインスタン、ディジー・ガレスピー、ローズマリー・クルーニー、マリリン・マッカーサー、ビリー・ディヴィス・ジュニアら、数多くのアーティストと共に演している。

GREETINGS



Jim Henry ジム・ヘンリー

I am thrilled to be sharing the stage again with Takayuki Nagami after nearly 25 years.

Tak and I were the best of friends in college longer ago than either of us would care to admit. We have many memories of singing together in choir, an opera production, a jazz octet (Tak was first tenor, I was bass), culminating in a duet performance of Henry Purcell's "Sound the Trumpet." Tak even made the posters advertising my senior voice and composition recitals.

After college we went our separate ways, me to graduate school in St. Louis and Tak, eventually, back to Japan. So it is a special treat for me to reunite with my old friend in song over two decades later, this time in his wondrous and beautiful home country of Japan.

I am indeed grateful to be here in Nagoya.

およそ25年という歳月が流れ、永見隆幸と再びステージを共にすることに、わくわくしています。

タックと私は、大学時代、自他共に認める親友でした。我々には、共に歌った、たくさんの思い出があります。合唱、オペラのプロダクション、ジャズ八重唱団(タックはファースト・テナー、私はベース)、白眉はヘンリー・パーセルの二重唱『サウンド・ザ・トランペット』。タックは、私の、声楽と作曲のシニア・リサイタル(卒業演奏会にあたる)を広告するポスターさえも制作してくれたのです。

大学卒業後、私は別の道を歩みました。私はセントルイスの大学院に、タックは(数年後)最終的には実際に日本へ行ってしまいました。ですから、20年の月日を越え、歌によって旧友との再会を果たすことは、私にとって特別な「おもてなし」なのです。しかも、今回は、驚きに満ちた美しい彼の母国—「日本」で。

私は、本当に、名古屋へ伺えることに感謝しています。

今なぜ東海地方に「クロスローズ」なのか? ~ タック&ジム

「クロスローズ」は世界一のア・カペラ・カルテット。それだけでも招聘に値する理由になるが、実は、メリーアーティスツ・カンパニーの永見隆幸芸術監督とクロスローズのリーダー格であるジム・ヘンリーは大学時代の親友なのだ。

ジムが編曲したジャズ・オクタett『アンディサイド』を初演した際にも、永見がトップ・テナーを、ジムがベースを歌い、ヘンリー・パーセルの二重唱『サウンド・ザ・トランペット』の共演などと、絶賛された。

初めて日本にやって来るア・カペラ・カルテットの世界王者「クロスローズ」。記念すべきその初上陸地点は愛知県名古屋市と決まりた。芸術とエンターテインメントが両立する舞台を東海地方から発信するメリーアーティスツ・カンパニーとのコラボレーションは興味津々。

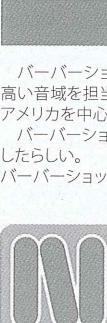
タック、ジムと呼び合う仲のふたりがどんなステージを創り、聴かせ、観せ、また魅せてくれるのか。杳が応でも期待は膨らむ。

バーバーショップ・ハーモニー協会とは?

テネシー州ナッシュビルに本部がある世界最大の男声合唱の組織。1938年の創立以来、70年を超える歴史を誇り、米国とカナダを中心に全世界で4万人近い会員がいるという。

彼等が年に1度、世界中から集まり、音楽性、歌唱力、表現力、その心やうまさや技術などを競うのがインターナショナル・コンペティション。そのチャンピオンならばア・カペラ世界一と呼ばれて然るべきだろう。

このチラシは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



「友の会」会員募集中! エンジョイコース 年会費3,000円
名古屋市文化振興事業団では「友の会」会員を募集しています。会員になると、チケットの割引・先行販売・情報誌のお届けなど様々な特典があります。http://www.bunka758.or.jp/

名古屋市東区葵1-3-27 (052)931-1811
地下鉄新栄町駅下車1番出口を北へ徒歩約3分